

生活者優先時代を実現する 2017年(平成29年) 6月25日 2202号 毎月5日、15日、25日発行

日本消費経済新聞

©日本消費経済新聞社2017

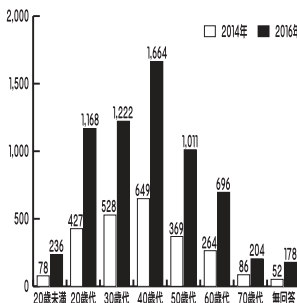
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 Tel: 03-3263-1191 Fax: 03-5276-7878
URL:http://www.nc-news.com 昭和46年12月24日第三種郵便物承認

購読料 1年8,400円
半年4,200円

2017年版消費者白書

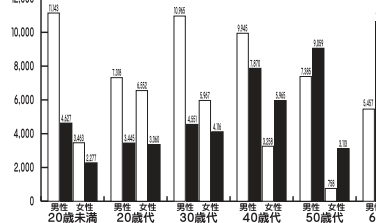
アダルト相談、中高年で急増 60代最多、70代6年で3.5倍

アダルト情報サイトトラブル解決をうたう探偵業者等に関する相談



スマホの保有率が中高年で急増したことに伴い、スマホの操作に不慣れな中高年でのアダルトサイトへの相談が60歳代、70歳代で急増していることが、消費者庁が6月9日に公表した2017年版消費者白書で明らかになった。性別年代を問わず最も多い相談だが、60歳代男性が最多となり、6年で2倍に増えた。70歳以上の男性では3.5倍に増えている。対照的に30歳代以下の男性では、半数以下に減少し、架空請求は無視すればいいという対応策が浸透してきている。ただし、その一方で、ネットで検索して、「無料」「返金可」などうたう相談窓口へ電話してしまい、依頼料を取られ、返金もされないという2次被害は、若者を含め各年代で急増している。消費者トラブルを回避する情報を20歳代、30歳代の8割が、10歳代後半の6割がインターネットで入手していた。行政で無料相談を実施しているにもかかわらず、ネット情報をうのみにして、探偵事業者の相談窓口へ電話してしまうという落とし穴に落ちている実態も浮かび上がっている。

アダルトサイト情報サイトに関する相談



窓口と類似した名称を使用しているため、間違えて電話してしまったケースも報告されている。

今回の消費者白書では、若者の消費を特集し、若者が長時間スマホを利用し、商品やサービスを選択する情報ははじめ、ニュースや消費者トラブルの対処法をインターネットで見ている実態が明らかになった(詳細は2面)。

インターネットが、若者の消費行動に大きな影響を与え、消費の新たなツールになっている一方で、ネットの情報

ネット情報の落とし穴 2次被害は若者でも急増

2016年に全国の消費生活センターなどに寄せられた相談件数は、約88.7万件。昨年から約5万件減少したが、依然として高水準にある。

2011年には2.9万件まで減っていた架空請求の相談が増加に転じ、2016年は7.7万件になった。通信サービスの相談が突出して多く、約26万件と3割を占める。その中で最も多いのがアダルトサイトへの相談だ。

アダルトサイトの相談件数は、男性は、40歳以下は減少し、60歳代、70歳代で急増しているのが大きな特徴だ。2016年の相談件数を見る(右下グラフ参照)と、男性では、60歳代が最も多く、次いで50歳代、40歳代と続く。4番目は70歳代と、30歳代や20歳代より多くなっている。

2010年と比較すると、60歳代は2倍、70歳代は3.5倍に増えている。50歳代は1.2倍に増えたが、2013年に比べるとわずか減少した。2010年に1万件を超えていた10歳代や20歳代は半数以下に、大きく減っている。女性の相談件数は男性の半数程度だが、30歳代までは減少し、40歳以上で増えている。40歳代が最も多く、2010年に比べ1.8倍に増えた。

「無料」「返金」実は探偵業者依頼料取られ、返金されない

一方で、2次被害の相談は、20歳代、30歳代を含め、各年代で急増している(右上グラフ参照)。アダルトサイト業者に高額な支払いをしてしま

スマホ保有率50代6割 60代3割、70代1割

スマートフォンの保有率は2015年末で、50歳代は6割、60歳代で3割、70歳代でも1割になった。

総務省の「通信利用動向調査」によると、スマホ保有率は2015年末で初めて半数を超え、53.1%になった。スマホを含む携帯電話を81.4%の人が保有していた。

スマホの保有率は、20歳代が最も高く92.9%。次いで、30歳代の86.2%、40歳代の74.8%、13歳~19歳の79.3%と続く。

この1年間の伸び率は、50歳代、60歳代が最も多く、50歳代は56.9%(前年比14ポイント増)、60歳代28.4%(同12ポイント増)になった。70歳代でも保有率は9.2%(同4ポイント増)に増えた。

80歳以上は1.9%とほとんど増えていないが、携帯電話の保有率が30.9%に増加している。

インターネットの利用状況は2015年末には、13歳から49歳でほぼ100%に近くなった。もっとも高い20歳代で99%、40歳代で96.5%に上る。50歳代では91.4%、60歳代76.6%、70歳代53.5%、80歳以上20.3%。60歳代、70歳代で急速に利用が拡大した。ただし、中高年で保有率が急増して

KIRIN

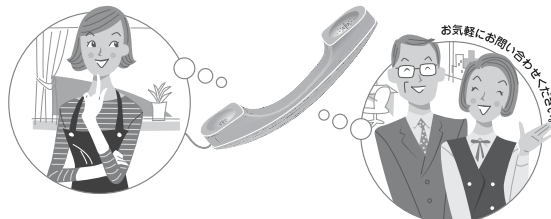
よりよい商品づくりに活かします。お客様の声。

キリンビールお客様相談室

☎ 0120-111-560 9:00~17:00(土日曜・祝日を除く)



ストップ! 未成年者飲酒・飲酒運転。
お酒は楽しく適量で。
妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。
のんだあととはリサイクル。



キリン株式会社 〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2中野セントラルパークサウス

http://www.kirin.co.jp